

クリエイティブなデータの管理



Extensis™

PortfolioTM8

クイックスタートガイド



連絡先

Extensis

1800 SW First Avenue,
Suite 500 Portland, OR 97201 USA
電話: +1 (503) 274-2020
FAX: +1 (503) 274-0530
インターネット: <http://www.extensis.com>

Extensis Europe

First Floor, Century House
The Lakes
Northampton NN4 7SJ
United Kingdom
電話: +44(0)1604 636 300
FAX: +44 (0)1604 636 366
電子メール: info@extensis.co.uk

©2005 Extensis, a division of Celartem, Inc. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensisの書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

ExtensisはExtensisの商標です。Extensisのロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Portfolio NetPublish、NetPublish、Suitcase、Suitcase ServerはExtensisの商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartemのロゴ、PixelLive、PixelSafeはCelartem, Inc.の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScriptはAdobe Systems, Incorporatedの商標です。Apple、Apple Script、FontSync、Macintosh、Mac OS 9、Mac OS X、PowerPC、QuickDrawはApple Computer, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows ME、Windows 98はMicrosoft Corporationの登録商標です。その他すべての商標は各社が所有しています。

株式会社セラータムテクノロジー

電子メール: sales_ap@celartem.com
<http://www.celartem.com/jp/>

プレスに関するお問い合わせ

電話: (503) 274-2020 x129
電子メール: press@extensis.com

カスタマーサービス

インターネット上: <http://www.extensis.com/customerservice/>
電話: (800) 796-9798

テクニカルサポート

インターネット: <http://www.extensis.com/support/>

マニュアルに関するご意見

インターネット: <http://www.extensis.com/helpfeedback/>

本製品の一部では、さまざまなオープンソースプロジェクトで開発されたソフトウェアコンポーネントを使用しています。そうしたコンポーネントのソースコードのライセンスおよび使用可能性については、本製品に付属する著作権表示ファイルであるLICENSES.TXTに示されています。ソフトウェアコンポーネントの利用に関する情報については、該当するライセンスを参照してください。

Extensisは、製品の購入日より30日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品をExtensisから直接購入し、30日以内に障害が発生した場合、ディスクをExtensisに返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前にExtensisで登録する必要があります。販売店から購入したExtensis製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensisは、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的の間わず他のいかなる保証もいたしません。



目次

Portfolio について	1
混乱を解消する	1
なぜ Portfolio が必要なのか	1
システムとソフトウェアの必要条件	2
インストール	2
登録とカスタマイズ	2
技術サポート	3
本クイックスタートガイドについて	3
Portfolio 8 の新機能	5
Portfolio の環境	6
はじめに	7
ステップ 1: ファイルのカタログ化	8
ステップ 2: Portfolio のカスタマイズ	10
ステップ 3: ファイルへのアクセス	13
ステップ 4: ファイルの整理	16
ステップ 5: フォルダ同期	18
ステップ 6: ファイルの検索	21
ステップ 7: ファイルの配布	22
Portfolio Express パレット	26
セキュリティとアクセス権	29
索引	31

Portfolio について

混乱を解消する

Portfolio は整理という単調な仕事を引き受け、デジタルファイルの名前付け、追跡、アクセスの処理によって生じる混乱状態を排除するソフトウェアです。Portfolio は、個人やワークグループがファイルを常に整理したり、必要なときにすばやく検索したり、電子メール、CD-ROM や Web を通じて配布したりといった処理を、最小限の操作で行えるように設計されています。このソフトウェアは数千から数十万ものファイルを同時に処理できるように設計されているため、個人でも大規模なワークグループでもデジタルファイルを整理することができます。

なぜ Portfolio が必要なのか

デジタルメディアが日常的に使われるようになり、膨大な数のデジタルファイルがコンピュータやサーバーのあちこちに保管されると、ファイルの管理が混乱します。この混乱を整理しないで放置すると、写真がなくなったり、本来のドキュメントでフォントが使用できなくなったり、画像のバージョンが更新されなくなったりします。その結果、正しいファイルを探すのに時間を浪費してしまうことにつながります。

Portfolio はユーザーの環境から、その様な問題を取り除くように設計されています。Portfolio は次のような作業でユーザーを支援します。

- 単語またはフレーズを入力するだけで、システム上にあるデジタル写真やその他のファイルを検索する。
- デジタルカメラで撮影された画像ファイルの名前を変更する。

- CD-ROM に保管してある写真全体を、CD-ROM を挿入しないでプレビューする。
- お気に入りの画像をスライドショーで閲覧する。
- 収集した画像を含む Web サイトを手早く簡単に構築する。
- 画像のコンタクトシートを印刷する。
- ファイルをまとめて、直接 CD-ROM や DVD-ROM に書き込む。
- 画面サイズのプレビュー画像をディスクに作成する。
- フォルダを参照することなく、単にダブルクリックするだけでファイルにアクセスする。
- EXIF、XMP および TIFF などの大切なメタデータを取り出して組み込む。
- 保存されたカタログオプションとフォルダ同期を用いて画像のカタログ化を自動化する。



システムとソフトウェアの必要条件

Portfolio をインストールおよび使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

Portfolio Macintosh:

- ・ Mac OS X 10.3 以降
- ・ Apple Macintosh G3 以降 (1GHz 以上推奨)
- ・ XGA またはそれ以上のフルカラーディスプレイ
- ・ 256MB 以上の物理 RAM (512MB 以上推奨)
- ・ 200MB 以上のハードディスク空き容量
- ・ サーバー接続のためのネットワークインターフェイス
- ・ QuickTime 6.5 以降
- ・ Macromedia Flash 7 以降のプラグインがインストールされた Web ブラウザ

Portfolio Windows:

- ・ Windows 2000、Windows XP Home または Professional
- ・ Pentium クラスのプロセッサ (1GHz 以上推奨)
- ・ XGA またはそれ以上のフルカラーディスプレイ
- ・ 256MB 以上の物理 RAM (512MB 以上推奨)
- ・ 200MB 以上のハードディスク空き容量
- ・ サーバー接続のためのネットワークインターフェイス
- ・ QuickTime 6.5 以降
- ・ Macromedia Flash 7 以降のプラグインがインストールされた Web ブラウザ

Portfolio をアップグレードする場合は、新しいバージョンをインストールする際に、以前のバージョンのシリアル番号をお手元にご用意ください。

インストール

製品に付属する CD-ROM で、素早く簡単にインストールするための操作手順を確認できます。Extensis 製品インストーラを Web サイトからダウンロードした場合、インストーラを実行すると、お読みくださいファイルがユーザーのハードディスク上に作成されます。

登録とカスタマイズ

弊社から最大限のサービスを提供させていただくために、ユーザー登録していただくことが重要です。ユーザー登録後、技術サポート、新バージョンや新製品に関する情報、新製品の割引および特別提供を受けることができます。

シリアル番号は、Portfolio CD-ROM のジャケットか製品のパッケージに記載されています。その番号を入力して、Portfolio をパーソナライズします。

シリアル番号を登録しない場合、Portfolio は、試用期間モードで動作し、製品の試用は、30 日間に限定されます。

技術サポート

詳細は、登録はがきをご覧ください。

* サポートを受けるには、ユーザーの登録が必要になります。

本クイックスタートガイドについて

本クイックスタートガイドは、Macintosh および Windows 用の Portfolio を対象にしています。キーボードのショートカットを説明する場合、「command」は Macintosh の **⌘** キーのことを指しています。メニュー選択の参照は、「メニュー」>「メニュー項目」を選択、のように示します。

特定の Portfolio 機能の詳細については、以下を参照してください。

- お読みくださいファイルー Portfolio フォルダ内にあります。このテキストファイルには最新の情報が記載されています。
- 次の Extensis Web サイトにある Portfolio ページ：
<http://www.extensis.co.jp>

Portfolio 8 の新機能

Portfolio はデジタル写真、イラスト、ページレイアウト、プレゼンテーションなどを美しい視覚的なカタログに整理する、業界トップのソリューションです。

ファイルは必要なときに見つけることができ、こそ資産になります。Portfolio の強力な新機能によって、ファイルの表示、整理、再利用が容易になり、ファイルを貴重な資産として利用することが可能になります。

カスタムソート

ギャラリー、スマートギャラリー、ディスクのフォルダ内でファイルをドラッグアンドドロップして自由に並べ替えができるようになりました。各ユーザーのワークグループ環境でカスタムソート順が自動的に保存され、最適な順序でファイルを表示できます。カスタムソート順が共有カタログのすべてのユーザーに適していれば、そのソート順をカタログレベルで有効なものとして、すべてのユーザーが同じソート順を利用するよう設定することが可能です。

一時ギャラリー

一時ギャラリーは、複数ギャラリーからのファイルのコレクションをソート、編集、マージしたり、検索結果を1つのギャラリーに保存できるようにする一時的な作業領域です。このようなギャラリーは、印刷したり他のユーザーと共有するアイテムを収集したりする場合に便利です。

パブリックおよびプライベートギャラリー

ギャラリー自分だけが見ることのできるプライベートギャラリーを作成できるようになりました。また、パブリックギャラリーとして公開し、他のユーザーが見たり変更したりできるギャラリーを選択することもできるようになりました。さらに、ギャラリーをロックして変更できなくすることも可能です。

高速カタログ化

Portfolio 8 では、ファイルをカタログにすばやく追加し、すぐに操作を開始できるようになりました。新しいアイテムを登録すると、最初にサムネールを取り込んでから、バックグラウンドでファイルの詳細情報を取得します。高速カタログ化を使用すると、Portfolio にアイテムが表示された直後に、メタデータのソート、削除、変更が可能になります。

XMP および CS ファイル情報パネル

XMP メタデータのサポートが強化され、より広範なファイルタイプが含まれるようになりました。カスタムネームスペースに保存されている情報を読み取る機能が追加されました。これには、Adobe CS2 アプリケーションで使用される新しい XMP ベースの IPTC コアメタデータおよびカスタムファイル情報パネルのサポートも含まれます。Adobe Creative Suite アプリケーション用のサンプルカタログとカスタム XMP パネルが自動的にインストールされるようになりました。

フォルダ同期の改善

新しい監視フォルダをカタログに追加するとき、フォルダをスキャンする頻度を定義することや、新しい各フォルダにカタログ作成オプションのプリセットを付加できるようになりました。フォルダ同期も強化され、無視または除外されたアイテムによってフォルダのステータスが自動的に変更されなくなりました。

ファイル形式サポートの改善

Portfolio 8 では、次のファイル形式のサポートが追加されました。

- Microsoft Windows の Word および Excel ファイルからサムネール、プレビュー、テキストのインデックス、およびメタデータの読み取り。
- Adobe DNG の未加工ファイルからの全画面プレビューの作成。
- 複数の新しいプロフェッショナルデジタルカメラから未加工ファイルを直接カタログ。
- DV や .3GPP2 など、いくつかの新しいプロ向けビデオ形式のサポート。

Quicktime ムービーのメタデータ

Portfolio 8 では、フレームレート、持続時間、オーディオトラックなどの一般的なメタデータ、および Quicktime でサポートされているムービーファイルからのメタデータを抽出できます。

ヘルプの改善

検索可能な HTML ベースのヘルプシステム、ビデオチュートリアル、サンプルカタログが追加されました。これによって、短時間で Portfolio 8 を使い始め、Portfolio をニーズに合わせてより簡単にカスタマイズできるようになります。

プレビュー画像使用法の改善

画面のプレビュー画像を使用して、CD、DVD、Web ページ、電子メールを作成できるようになりました。これによって、(オフラインのファイルも含めて) ファイル共有プロセスが著しくスピードアップできます。

アイテムプロパティの強化

アイテムプロパティのダイアログが小さく、使いやすくなりました。最も一般的に使用される情報が最初のタブに表示され、「フィールド」タブをフィルタして、EXIF や IPTC など特定タイプのメタデータだけを表示することもできるようになりました。これによって、「プロパティ」ダイアログを開くだけで、どのファイルのメタデータでも検索したり編集できるようになりました。

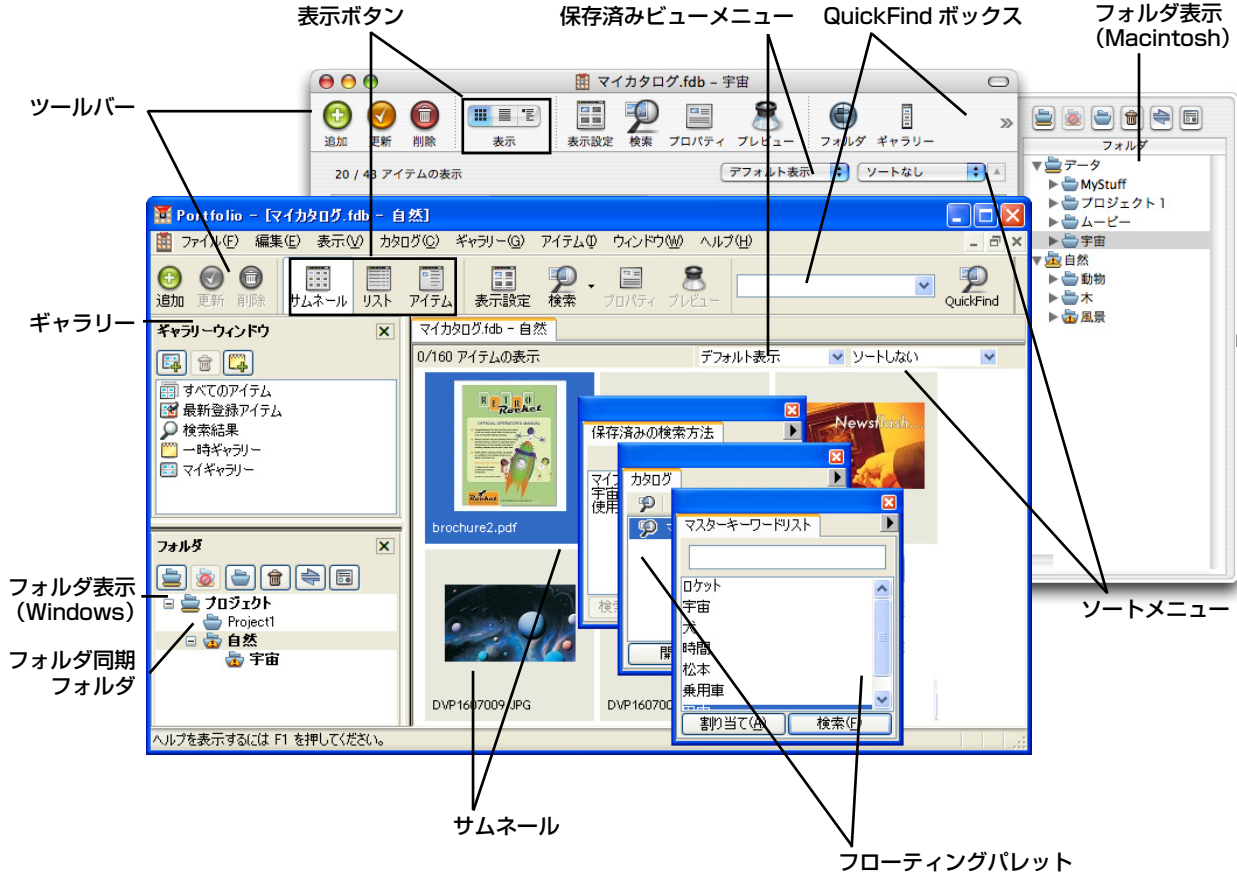
デジタル写真の自動回転

画像をカタログに追加すると、写真の向きを記録するデジタルカメラからのサムネールとプレビュー画像が自動的に回転されます。

評価、ラベル、ワークフローの追跡

デフォルトの Portfolio カタログに評価とラベル用の組み込みフィールドが追加されました。ワークフローがスムーズになるように、スマートギャラリーが迅速簡単に作成でき、どのワークフローからでも追跡できるようになりました。

Portfolio の環境



はじめに

Portfolio は、デジタルファイルに関する情報を、扱いやすい視覚的なカタログに保存することによってファイルを整理するのに役立ちます。ファイルを探すのに深い階層のフォルダを探したり、必要な画像を見つけるために文書を次から次へと開いたりする代わりに、Portfolio のカタログにあるサムネールのプレビューをすばやく参照したり、Portfolio の強力な検索エンジンを使用して必要なアイテムの検索を実行したりできます。

Portfolio の設定および使用には、本クイックスタートガイドですべて取り扱われる基本ステップが含まれます。

カタログ作成：ファイルは「カタログ化」(Portfolio のカタログに追加)する必要があります。これによって、Portfolio はファイルの検索、プレビュー、および追跡が可能になります。



カスタマイズ：必要な情報の検索と表示を容易にするために、カタログの外観を定めます。

アクセス：ファイルを直接 Portfolio 内でプレビューし、別ディスクへコピーし、Photoshop® または QuarkXPress® などのソフトウェアへドラッグし、作成元アプリケーションで開いて編集を行います。



整理：Portfolio 内のツールを使用して、キーワード、説明、その他のカスタムデータを追加することにより、ファイルをグループ化、整理、およびカテゴリ化することができます。

検索：1つの単語や句を入力することで、分類されたファイルの位置を調べ、すばやくアクセスします。Portfolio に自動的に記憶される一連の基準を用いて検索を行います。

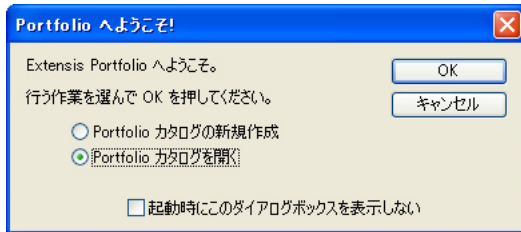
配布：自動的にサイズ変更されたファイルを電子メールで送信し、CD-ROM や DVD-ROM に直接書き込み、Web ページとして公開します。Portfolio は、配布に関するタスクを最大限に自動化します。

ステップ 1: ファイルのカタログ化

Portfolio を使用してデジタル画像のコレクションの整理や管理を行う前に、ファイルのカタログ化を行い、Portfolio が、ファイルの検索、プレビュー、追跡を行うことができるようにする必要があります。

Portfolio のカタログを新規作成

Portfolio を最初に起動するとき、ようこそダイアログボックスでは 2 つの選択肢があります。新規の空のカタログを作成するか、または既存のカタログを開くことができます。



「Portfolio カatalogの新規作成」オプションを選択し、OK をクリックします。アイテムが 1 つも含まれない空のカタログが作成され、画面上に開きます。

カタログにアイテムを追加する準備ができました。

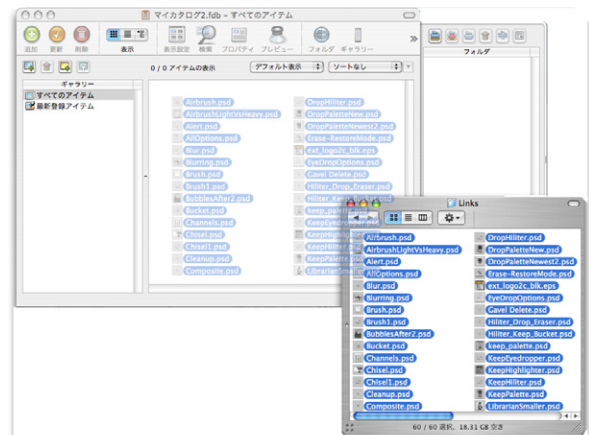


第三者が作成したカタログがあったり、Portfolio の以前のバージョンを使ったことがある場合、ファイルメニューから「開く」コマンドを選択し、Portfolio で既存のカタログを開くことができます。Portfolio は、以前のバージョンの Portfolio で作成されたカタログを自動的に変換することができます。詳細については、「Portfolio ユーザーガイド」を参照してください。

選択したファイル、フォルダ、ディスクをカタログにドロップする

個々のファイル (JPEG 画像や EPS のグラフィックなど) やボリューム全体 (ハードディスク、CD-ROM や DVD-ROM、ネットワークボリュームなど) をカタログ化できます。

一番簡単な方法は、ファイル、フォルダ、またはディスクアイコンを開いているカタログのウィンドウにドラッグして、カタログ化することです。



Portfolio は、ほぼすべてのタイプのデジタルファイルをカタログ化することができ、非常に一般的なグラフィックスやビデオフォーマットで作成されたドキュメントのサムネールプレビューを作成できます。

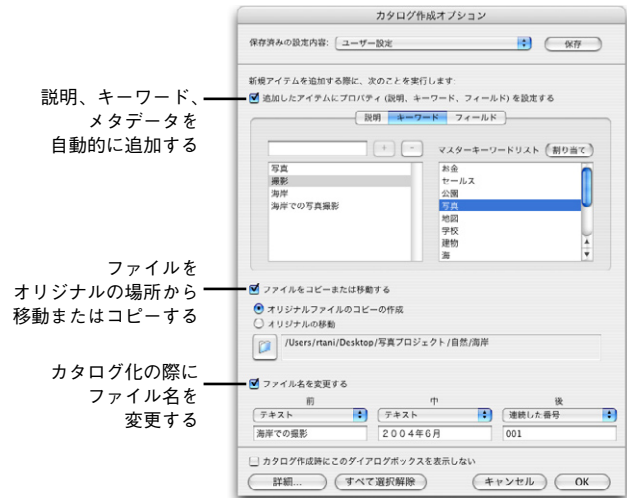
また、インスタントカタログ作成機能を用いて、カタログにアイテムを追加することができます。



Macintosh の Finder または Windows のエクスプローラ内の任意の場所でファイル、フォルダ、またはディスクアイコンを Ctrl キーを押しながらクリックするか (Mac)、または右クリックし (Windows)、「Portfolioへ追加」サブメニューを選択して、最近使用したカタログのリストを表示します。選択済みのアイテムを追加するカタログを選択します。必要なカタログが一覧表示されない場合は、「その他のカタログ」を選択して開きます。

カタログ作成オプションの設定

Portfolio にアイテムを追加するとき、ファイルのどの情報をカタログに保存するかを詳細に設定することができます。カタログ化オプションで「カタログ作成時に表示しない」をオンにして表示されないようにしない限り、ファイルをカタログ化するたびに表示される「カタログ作成オプション」ダイアログボックスでは、さまざまなオプションを設定することが可能です。



「カタログ作成オプション」ダイアログボックスを使用して、ファイルをカタログ化する際に、ファイルを自動的に名前を変更したり、コピーしたり、移動させたりすることができ、また画像に関するキーワード、説明、およびその他の情報を追加できます。カタログ作成オプションの使用に関する詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』をご参照ください。

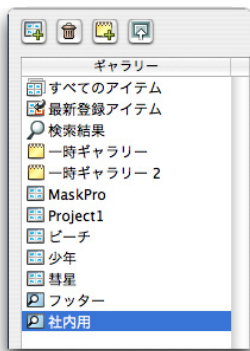
ファイル名を変更したり、移動させたりせず単にカタログに追加するだけの場合、「カタログ作成オプション」ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックし、カタログ作成を続けてください。Portfolio は、各アイテムを調べ、ファイルをカタログに追加します。

ステップ 2: Portfolio のカスタマイズ

ファイルを一度カタログ化すると、さまざまな方法で表示することができます。

ギャラリーの作成

ギャラリーは、カタログ内のすべてのアイテム、またはそのサブセットを表示できます。一度クリックすると、「ギャラリー」からギャラリーが開きます。

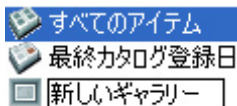


デフォルトで、Portfolio のカタログには、ギャラリーが2つ含まれています。1つはカタログ化されたすべてのアイテムを表示し、もう1つは最後にカタログ化されたアイテムを表示します。「検索結果」ギャラリーは、カタログを検索した後に表示されます。

またギャラリーを作成し、カタログ化したアイテムを自由に追加することもできます。標準のギャラリーはつねにカタログ内に保存され、一時ギャラリーはファイルの一次的なコレクションを作成するためにだけ使用されます。

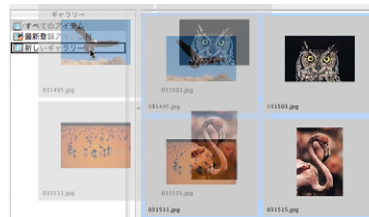
新規のギャラリーを作成するには

1. 「ギャラリー」から「新規」を選択します。
2. ギャラリーの名前を入力します。Macintoshでは、ダイアログボックスに名前を入力し、「OK」をクリックします。



3. アイテムをギャラリーに追加するには、以下の2つの方法があります。

- サムネールを別のギャラリーから新しいギャラリーにドラッグする。
- 特定のキーワードを含むアイテムなど、アイテムの選択されたセットについて検索を実行する。「検索結果」のギャラリーから、新規のギャラリーへサムネールをドラッグします。(特定の検索を実行する場合の詳細については、「ファイルの検索」の箇所をご参照ください。)



各ギャラリーはカスタマイズでき、常に必要な情報を確認し、表示させることができます。カスタマイズは、「ビューの設定」機能（「表示」>「表示設定」）を使い、ビューを保存し、保存したビューを「ギャラリー」に当てはめて（「ギャラリー」>「設定」）行います。

「最新カタログ登録日」ギャラリーには、最後にカタログ化したファイルが表示されます。Portfolio Server の共有カタログについて、Portfolio は現在のユーザーがカタログ化したファイルのみをカタログ内に表示します。



「環境設定」ダイアログボックスの「一般」タブでユーザー名を設定する必要があります。設定しない場合、Portfolio は「最新カタログ登録日」ギャラリー内の、日付が最新であるすべてのファイルを表示します。

ビューの表示形式の選択

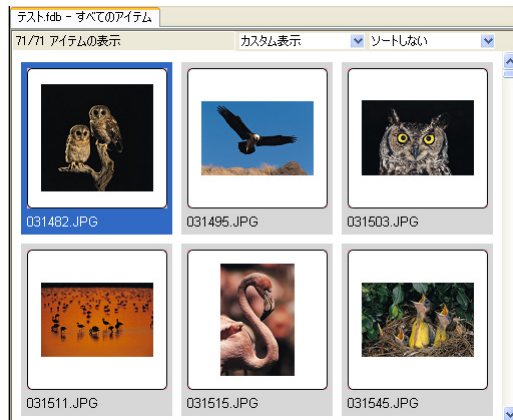
Portfolio では、サムネール、リスト、アイテムという3種類の表示方法（ビュー）が用意されています。各ビューはカスタマイズすることが可能で、表示したい情報を自由に設定することができます。

メインツールバーの「表示」ボタンを使って、3つのビューの表示形式を切り替えてください。



サムネール表示

Portfolio のデフォルトの表示であるサムネール表示は、小さなサムネールサイズのプレビューで構成される調整可能なグリッドにアイテムを表示します。カタログ化された各アイテムに関する情報は、各サムネールの下に表示されます。



リスト表示

リスト表示は、表計算ソフトウェアと同様のリスト形式で、アイテムやカタログ化した情報を表示します。デフォルトでファイルサイズとファイルタイプ、修正、およびボリュームがリストされます。このフィールドは、「表示」>「設定」コマンドで編集でき、リストの列に表示するフィールド情報を自由に設定することが可能です。

EXIF Sample Catalog.fdb - すべてのアイテム			
94/94 アイテムの表示			
デフォルト表示		ソートしない	
ファイル名	ファイルサイズ	変更日	
031462.JPG	1189 K	2001/08/27 5:00:00	
031495.JPG	1288 K	2001/08/27 5:00:00	
031503.JPG	1892 K	2001/08/27 5:00:00	
031511.JPG	676 K	2001/08/27 5:00:00	
031515.JPG	1361 K	2001/08/27 5:00:00	

アイテム表示

アイテム表示では、関連した保存データとともに、アイテムを表示させることができます。例えば、このビューの表示形式では、ファイルに関連したあらゆるキーワードのリストを見たり、入力した可能性のある別のカスタムフィールドデータとともに説明全体を表示させたりすることができます。



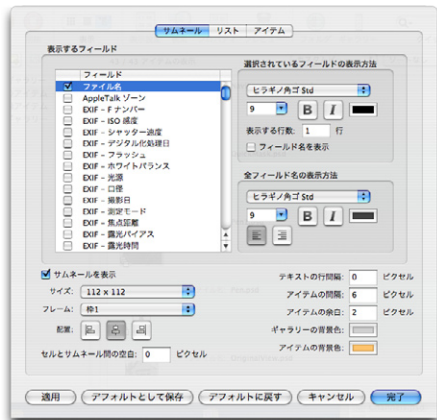
各アイテムのプロパティを1つずつ開いて表示するのではなく、アイテムのセットに関する多くの詳細情報を閲覧するときにアイテム表示を選択します。

ビューのカスタマイズ

ビューの表示形式を選んだ後で、サムネール、フォント、背景カラー、境界、および間隔をカスタマイズすることにより、Portfolioの各ビューに独自の外観を与えることができます。ギャラリーに独自の変更を加えた後、新規の設定でギャラリーを印刷することができます。

ビューをカスタマイズするには

1. 「表示」から「表示設定」を選択します（MacではCommandキーを押しながらDキー、Windowsでは、Ctrlキーを押しながらDキーを押します）。
2. 「表示設定」ダイアログボックスで、カスタマイズするビュー（サムネール、リスト、アイテム）のタブを選択します。



3. 「フィールド」表示リストで、サムネールとともに表示するフィールドを選択します。各フィールドを強調する場合は、各フィールドのフォント、サイズ、外観をカスタマイズします。選択したビューの表示形式により、サムネールの境界、ギャラリーのバックグラウンドの色などもカスタマイズできます。このダイアログボックスで選択可能なオプションに関する詳細情報については、『Portfolio ユーザーガイド』をご参照ください。

4. ビューをカスタマイズしたら、「適用」ボタンを用いて、各設定の変更の結果について確認してください。終了したら、「OK」をクリックしてください。

ビューの設定を保存するには

ビューのカスタマイズ後、今後、そのビューを使う場合、その設定を保存します。

1. 「保存済みビュー」ドロップダウンメニューから、「別名で保存」を選択します。
2. ビューに名前を付けて、「OK」をクリックしてください。新規ビューがリストに追加され、任意のギャラリーで使用できます。



「保存済みビュー」をギャラリーに適用するには

ギャラリーで特定のビューを常に使うことができます。そのようにして、指定されたビューを用いたアイテムのビューを常に見ることができます。

1. 「保存済みビュー」を作成し、保存します。
2. 「ギャラリー」>「ギャラリーの設定」を選択します。
3. 「保存済みのビューを使用する」オプションをオンにします。

保存済みのビュー

保存済みのビューを使用する

使用する保存済みのビュー: カメラ

4. ドロップダウンボックスから保存済みビュー名を選択し、「OK」をクリックします。これにより、ギャラリーを開く際、保存済みビューが自動的に適用されます。

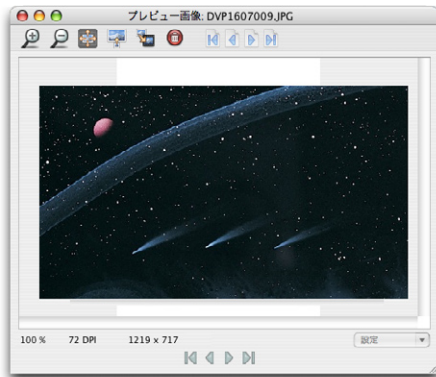
ステップ 3: ファイルへのアクセス

Portfolio でファイルが、きちんとカタログ化されると、ファイルにアクセスし、使用することが驚くほど簡単になります。Portfolio 内からファイルを用いて以下のことを行うことができます。

画像、オーディオ、ビデオクリップのプレビュー

Portfolio はさまざまな画像、ムービー、サウンドファイルを直接開くことができるので、カタログ化されたアイテムをすばやくプレビューできます。このため、アイテムを表示するために、アイテムの作成に使用されたソフトウェアを起動する手間が省けます。

- 任意のギャラリーでサムネールをダブルクリックして、プレビューします。




「プレビュー」ウィンドウには、ボタンがあり、拡大、縮小、または画像を「プレビュー」ウィンドウのサイズに合わせることができます。一度に複数のアイテムをプレビューしている場合、プレビューウィンドウにはナビゲーションボタンが表示され、アイテムを切り替えることができます。

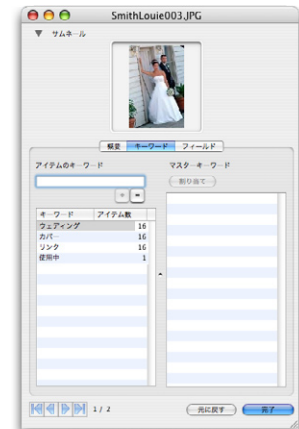
ファイルに関する詳細情報の入手

Portfolio は、カタログ化するすべてのファイルに関する非常に詳細な情報を保存します。この情報には、Portfolio そのものがカタログ作成中に収集するデータとして、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像寸法、ファイルタイプなど、さらに、説明やキーワードのような Portfolio の記録に追加される情報が含まれます。この情報はすべて「プロパティ」ダイアログボックスで使用できます。

アイテムのプロパティを開くには

1. ギャラリーのアイテムを1つまたは複数選択します
2. ツールバーの「プロパティ」ボタン  をクリックします。
3. 「一般」、「キーワード」、「フィールド」の各タブを切り替えて、各ファイルの詳細を表示します。

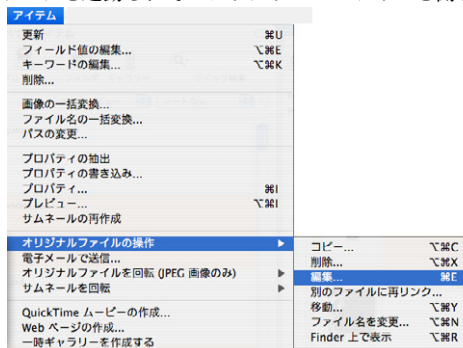
「アイテム プロパティ」ダイアログボックスの下にある4つのナビゲーションボタン「最初」、「次」、「前」、「最後」を使うと、アイテムを切り替え、各アイテムに関する情報を連続して表示することができます。



ファイルの編集

カタログ化されたファイルの編集には、Portfolio から他の任意のソフトウェアを直接、起動することができます。

ギャラリーにある、編集したいアイテムを選び、「アイテム」から「オリジナルファイルの操作」>「編集」を選択するか、Command キーを押しながら E キーを押すか (Mac)、または Ctrl キーを押しながら E キーを押します (Windows)。Portfolio はオリジナルファイルを編集するために必要なソフトウェアを起動し、そのプラグラムでファイルを開きます。



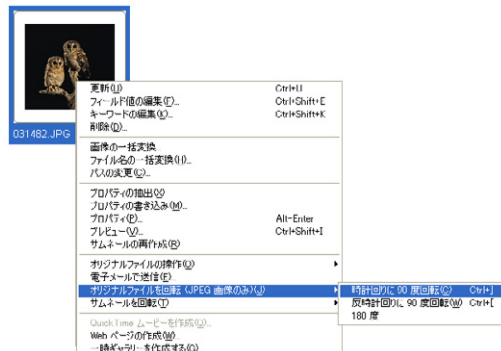
Portfolio は一般に、特定のファイルタイプを編集するために、最後に使用されたソフトウェアの名前と場所を記憶しています。必要があれば（特定のタイプのファイルを初めて編集しようとしたときなど）、アプリケーションを選択するように要求されます。Portfolio は選択した情報を記憶します。

画像を回転する

Portfolio は JPEG 画像を回転させることができ、ファイルを個別に開き、編集することなく、デジタル写真の向きを縦から横へ（またはその逆に）簡単に切り替えることができます。

JPEG 画像を回転するには

1. 回転させるアイテムを選択します。個別のサムネールを選択するか、複数のサムネールを選択できます。複数のサムネールを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Windows) を押しながらアイテムを選択します。
2. アイテムを右クリック (Win) または Ctrl キーを押しながらクリック (Mac) して、メニューから「オリジナルファイルを回転」を選択します。時計回りに 90 度、反時計回りに 90 度、180 度という 3 つのサブメニューオプションから選択します。



ファイル名を変更する

ファイル名の変更には Finder や Windows のエクスプローラではなく、以下の方法を利用できます。

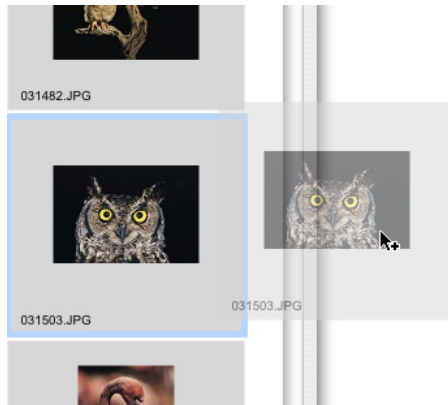
- サムネールを選択し、「アイテム」、「オリジナルファイルの操作」、「ファイル名を変更」の順に選択して、「ファイル名を変更」ダイアログボックスで新しい名前を入力することにより、個別のファイルの名前を変更します。
- サムネールを選び、ツールバーの「プロパティ」ボタンをクリックし、「アイテムプロパティ」ダイアログボックスで「名前」フィールドに新規の名前を入力します。

他のファイルの名前を変更する方法については、『ユーザーガイド』の「Portfolio によるファイルの管理」の章を参照してください。

他のソフトウェアでのファイルの使用

Portfolio はファイルの管理と整理を行う機能を備えています
が、クリエイティブな作業は Portfolio 以外のソフトウェア
で行うのが普通です。画像の編集、文書の作成、プレゼンテ
ーションの作成、印刷物のページレイアウト、Web コンテン
ツの開発などは、それぞれ専用のソフトウェアが豊富にあり、
そうしたソフトウェアとの連携も Portfolio なら簡単です。

Portfolio のカタログ内にあるアイテムを、こうした他のソフ
トウェアで開くには、単純なドラッグ&ドロップ操作を行いま
す。Portfolio を使用して、他のソフトウェアで画像の作業
を行う例をいくつか以下に示します。



- サムネールをドラッグ&ドロップに対応しているドキュメントにドラッグし、そのドキュメント内にファイルのコピーを配置する。
- サムネールを Adobe Photoshop®、Adobe Illustrator®、Macromedia FreeHand® などの画像編集ソフトウェアのエイリアス（またはショートカット）上にドラッグし、そのソフトウェアでファイルを開く。
- サムネールをデスクトップまたはフォルダウィンドウにドラッグし、その場所にオリジナルファイルのコピーを作成する。
- サムネールを電子メールメッセージにドラッグし、添付ファイルとして画像のコピーを送信する。



Portfolio Express パレットは、カタログ化されたファイルを他のソフトウェアで使用する際に非常に便利です。Portfolio と同様にサムネールを他の文書にドラッグ&ドロップできますが、コンパクトなパレットが他のドキュメントウィンドウの上につねに表示されるため、他のソフトウェアから1つのキーストロークでアクセスできます。詳細については、本書の「Portfolio Express パレット」の章を参照してください。

ステップ 4: ファイルの整理

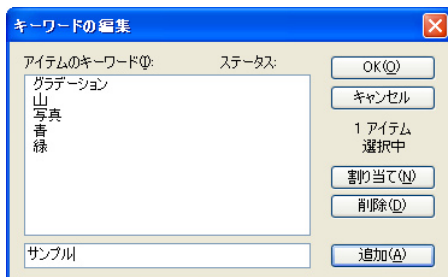
Portfolio ではファイルのソート、配置、分類、整理をさまざまなツールを用いて行うことができます。

キーワードの使用

キーワードとは、カタログ化されたアイテムを説明する単語や単文で、各アイテムをカテゴリー化したり分類したりする際に利用します。たとえば、日没時の熱帯地方の海岸の画像があったとすると、砂浜、海岸、海、日没、熱帯、休暇、レクリエーション、アウトドアなどのキーワードをその画像に割り当てるといいでしょう。このようにキーワードを割り当てると、画像を他の関連する画像とグループ化したり、ファイルを検索したりするのが簡単になります。Portfolio では、アイテムに割り当てることができるキーワードの数に制限はありません。

キーワードを割り当てるには

1. ギャラリーから、キーワードを割り当てたいアイテムを選択します。
2. 「アイテム」>「キーワードの編集」を選択し、「キーワードの編集」ダイアログを開きます。



3. テキストボックスでキーワードを入力し、「追加」をクリックします。
4. 「OK」をクリックすると、キーワードが追加されます。

また、「プロパティ」ダイアログボックス、「フィールド値の編集」機能、「アイテム表示」から、カタログ化されたファイルにキーワードを追加することもできます。



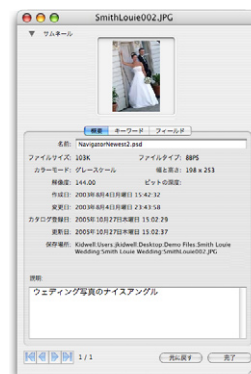
キーワードを自動的に作成することもできます。ある種のファイルに埋め込まれているキーワードを抜粋するか、または各アイテムの名前とファイルパスに基づいたキーワードを作成することにより、カタログ作成の間に、Portfolio を用いてキーワードを自動的に追加できます。詳細については、「Portfolio ユーザーガイド」をご覧ください。

説明文の使用

カタログ化する各アイテムについて、テキストの説明文を簡単に登録することができます。説明文を追加した後で、それらを使用してファイルを検索できます。「プロパティ」ダイアログボックスに説明文を入力できます。

説明文を追加するには

1. ギャラリーからアイテムを選択し、「ツールバー」の「プロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「プロパティ」ダイアログボックスの「概要」タブを選択します。
3. 新しい説明文を入力し、「OK」をクリックします。



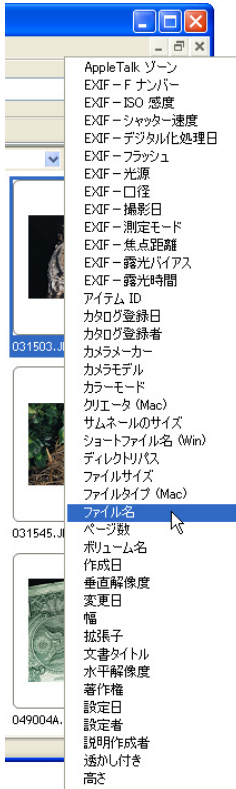
アイテムのソート

作成されたあらゆるカスタムフィールドを含むほとんどのフィールドで、カタログのアイテムをソートすることができます。ファイル名、サイズ、カラーモード、ファイルタイプ、または他の条件で、アイテムをソートすると、簡単に、ファイルのコレクションをブラウズし、整理できます。

また、サムネールをドラッグするだけで、カタログ中のアイテムを自由にソートできます。数多くのファイルを何らかの順序で並べる場合には、ドラッグによるソートは実用的ではないかもしれませんが、単にギャラリー内のアイテムを好きな順番に並べ替えるだけの場合、ドラッグによるソートは便利です。

ファイルを自動的にソートするには、各ギャラリーの上部で、ステータスバーの右上隅（メインのツールバーの直下）にある「ソート」メニューを使用します。デフォルトでは、ギャラリーはソートされていない状態で、ギャラリーに追加した順番にアイテムが表示されます。メニュー内のフィールドを選択すると、そのフィールドを元に現在表示されているギャラリーのソートが行われます。

「ソート」メニューからギャラリーのソートを行うと、ソートの基準にしたフィールド名がメニューに表示されますので、現在どのような順序でソートされているかをひと目で確認できます。また、アイテムをドラッグしてソート順を変更すると、「ソート」メニューには「カスタム」と表示されます。



カスタムフィールドの使用

カスタムフィールドでは、情報のタイプ（日付、数字、テキストブロック、または URL など）に合わせて情報を保持でき、ファイルの整理、分類、および検索の際に、はるかに柔軟に対応できます。Portfolio では、カタログに無制限のカスタムフィールドを作成できます。

カスタムフィールドの作成は、Portfolio の管理機能です。つまり、「管理者」モードでカタログを開いて、カスタムフィールドを追加します。「管理者」モードであるかどうかを確認するには、「カタログ」から「カスタムフィールド」メニューを選択します。「カスタムフィールド」コマンドが使用できない場合は、「管理者」モードではありません。「カタログ」から「アクセス権のレベル」を選択し、「カタログのアクセス権」レベルを「管理者」に変更し、必要な場合はパスワードを入力して、「OK」をクリックします。

カスタムフィールドを作成するには

1. 「カタログ」から「カスタムフィールド」を選択します。
 2. 「新規」をクリックし、新規フィールドに名前を設定し、タイプ（文字列、日付、テキストブロックなど）を割り当てます。カスタムフィールドのタイプとオプションは、『Portfolio ユーザーガイド』に説明されています。
-
3. 「OK」をクリックし、「カスタムフィールド」ダイアログボックスに戻り、「完了」をクリックします。



メタデータのタイプの多くは、Portfolio で自動的に追跡されます。カスタムフィールドを追加する前に、特定のメタデータのタイプの「カスタムフィールド」リストをチェックしてください。

ステップ 5: フォルダ同期

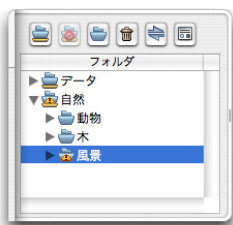
Portfolio には、フォルダ同期という非常に強力な機能があります。ご使用のコンピューターやネットワークのフォルダの内容を Portfolio のカタログと同期させたり、逆にカタログをフォルダと同期させたりすることができます。

Portfolio 内部のファイルを論理的に整理する代わりに、フォルダ同期では、ディスク上のファイルを物理的に整理できます。

「フォルダパレット」の表示

フォルダ同期を行うフォルダは、Windows の「フォルダパレット」および Macintosh の「フォルダパレット」上に表示されます。


フォルダパレットがメインウィンドウ内に表示されていない場合は、「表示」から「フォルダ」を選択して表示します。



監視フォルダの追加

フォルダ同期では、ご使用のコンピューターシステムと Portfolio のカタログ内にあるアイテムとのリンクが生成されます。フォルダ同期の使用を開始するには、Portfolio に、ご使用のシステムのどの（1つまたは複数の）フォルダを「監視」させるかを Portfolio に指示する必要があります。ネストしたフォルダの階層構造を Portfolio に監視させるには、Portfolio をフォルダの最上部に位置する必要があります。

監視フォルダを追加するには

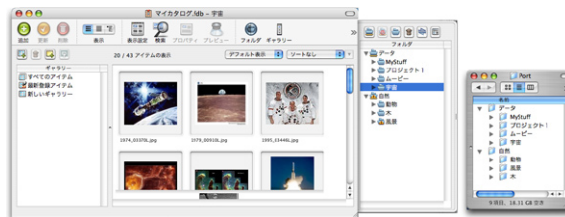
1. 「フォルダパレット」の上部で、「監視フォルダの追加」ボタン  をクリックします。

2. ご使用のシステムの Portfolio と同期したいフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
3. 「フォルダ同期の設定」ダイアログボックスで、Portfolio のフォルダ監視方法と、新しいファイルが見つかった場合やファイルが削除された場合の動作を設定します。また新しいファイルをカタログ化するとき使用するカタログ作成オプションのプリセットを指定することもできます。詳細は『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。
4. 「OK」をクリックしてフォルダ同期のオプションを設定し、さらに「OK」をクリックして、フォルダ同期を行うフォルダを選択します。

選択したフォルダが、「フォルダパレット」内に表示されます。

「フォルダパレット」を使用したディスク上のファイルの移動

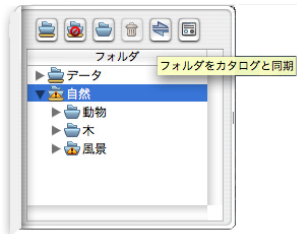
Portfolio を使用すると、カタログ化したファイルを「フォルダパレット」に表示されたフォルダから、簡単に移動したりコピーすることができます。ファイルを移動して整理する際に、Macintosh の Finder や Windows のエクスプローラを使用する必要がなく、Portfolio から作業を行うことができるため、大変便利です。これには、カタログ化したアイテムのサムネールを「フォルダパレット」内のフォルダにドラッグします。すると Portfolio は、そのファイルを指定されたフォルダに移動し、カタログを更新して、ファイルの新しい場所を記憶します。




フォルダと Portfolio の同期

ファイルを含む新規の監視フォルダを「フォルダパレット」に追加すると、最初に、名前が太字で警告アイコンとともに表示され、Portfolio とまだ同期されていないファイルが含まれていることを知らせます。

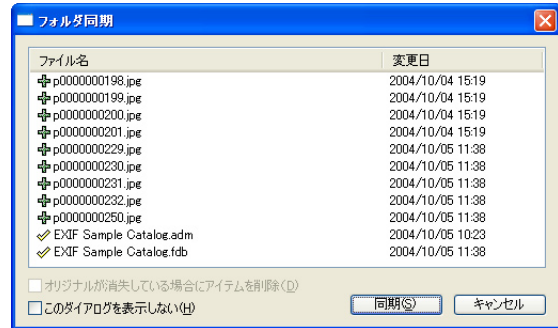
「フォルダパレット」内に表示されたフォルダ名が太字の場合、そのフォルダを最後に同期したときから、フォルダ内のファイルに何らかの変更があったことを意味しており、カタログ化されたファイルが編集されたり、名前が変更されている可能性があります。あるいは、Finder (Mac) またはエクスプローラ (Windows) を使用して、別のフォルダへ、ファイルがドラッグされている可能性があります。




フォルダの同期

1. 「フォルダパレット」で、クリックして、監視フォルダを選択します。
2. 同期ボタン  をクリックして、選択されたフォルダの内容を Portfolio で調べ、フォルダ内のカタログ化されていないアイテムをカタログ化します。
3. 「フォルダ同期」ダイアログボックスが表示され、フォルダが最後に Portfolio と同期してから生じたすべての変更をリストします。削除されたファイルは、赤い「×」、フォルダに追加されたファイルは緑の「+」符号付きで表示されます。修正されたファイルや名前変更されたファイルは、名前の横の黄色のチェックマーク付きで表示されます。

どのような理由でも、Portfolio を更新して、これらの変更を取り込みたくない場合（例えば、誤って間違ったファイルがフォルダに入れられた場合など）、「キャンセル」をクリックすれば、Portfolio は変更されません。



4. 「同期」ボタンをクリックして、カタログ作成作業を続けます。

「フォルダ同期」ダイアログボックスで「同期」ボタン  をクリックすると、Portfolio は指定されたカタログ作成オプションのプリセットを使用してフォルダ内の新しいファイルをカタログ化すると同時に、以前にカタログ化され、変更のあったファイルを更新します。移動されたファイルや消失したファイルは、ダイアログボックスの下の「オリジナルが消失している場合にアイテムを削除」チェックボックスをオンにした場合にのみ削除されます。

「フォルダパレット」内のフォルダを同期すると、Portfolio のカタログはフォルダの内容と一致するので、フォルダ名は太字ではなくなります。




ファイルがフォルダから削除され、「同期」コマンドを使用する際に、「フォルダ同期」ダイアログボックスの「消失ソースファイルのアイテム削除」チェックボックスをオンにしない場合、フォルダは、「同期されていない」ままであり、太字で表示されます。これは、Portfolio が、そのフォルダにもう存在していないファイルの記録をまだ含んでいるからです。フォルダを完全に同期させるには、「消失ソースファイルのアイテム削除」チェックボックスをオンにして、フォルダを再同期させます。

フォルダの作成と削除

Portfolio のフォルダ同期を利用して、新規フォルダやすでにあるフォルダ内に新規サブフォルダを作成し、ディスクの画像をグループ化したり、分類したりできます。フォルダの設定をするために、Macintosh の Finder や Windows のエクスプローラに移る必要はありません。「フォルダパレット」で、ハードドライブやネットワークのフォルダの追加、削除、移動を行うことができます。

監視フォルダの新規作成


1. 「フォルダパレット」で選択された既存のフォルダがないことを確認してください。
2. 「フォルダパレット」の上部で、「新規の監視フォルダ」ボタン  をクリックします。
3. フォルダ選択ダイアログボックスで、新規フォルダの場所を選び、「新規フォルダ」ボタン (Mac) または「新規フォルダの作成」(Windows) をクリックします。



4. 「OK」をクリックして、選択を確認します。作成したフォルダが、「フォルダパレット」に新規の監視フォルダとして表示されます。


サブフォルダの新規作成

1. 「フォルダパレット」ですでに表示されているフォルダの1つを選択します。

2. 「フォルダパレット」の上部で、「新規サブフォルダ」ボタン  をクリックします。新規フォルダが、選択したフォルダのサブフォルダとして作成されます。

3. 新規フォルダの名前を入力し、「Enter」を押します。

「フォルダパレット」から監視フォルダの削除


1. サブフォルダではなく、監視フォルダを選択していることを確認してください。
2. 「フォルダパレット」の上部で、「フォルダの削除」ボタン  をクリックします。



監視フォルダを削除しても、ハードディスクやネットワークからフォルダは削除されず、またフォルダ内部のファイルも削除されません。フォルダが、Portfolio から「切断される」だけです。

ディスク上のフォルダの削除

「フォルダパレット」を用いて、ハードディスクからサブフォルダを削除することができます。

1. 「フォルダパレット」で、サブフォルダをクリックして、選択します。
2. 「フォルダパレット」の「ディスク上のフォルダの削除」ボタン  をクリックします。Portfolio は、ディスクからフォルダおよびその内容のすべてを削除します。また警告に示されているように、フォルダの監視をやめません。



「フォルダパレット」内部から、最上部の監視フォルダを削除することはできません。サブフォルダのみを削除できます。最上部のフォルダからは、Macintosh の Finder または Windows のエクスプローラから削除する必要があります。

ステップ 6: ファイルの検索

Portfolio の非常に重要な機能の 1 つは、デジタルファイルを、必要なときに、検索して取り出すことです。カタログ化されたデータの細かい検索を行う際に利用できる機能がいくつかあります。

QuickFind を用いての検索

Portfolio の一番簡単で、利用しやすい検索機能は、QuickFind であり、これはツールバーにあります。



QuickFind は、ボタンをクリックしたり、メニューを選択したり、「検索」ダイアログボックスを開くことなく、フィールドの内容のあらゆる組み合わせに基づいてファイルの検索を可能にします。これは、ファイル検索の一番速くて簡単な方法です。

QuickFind を使用するには

1. 「QuickFind」ボックス内でクリックします。
2. ボックスに語句を入力し、キーボードの Enter キーを押します。

一致するアイテムが、「検索結果」ギャラリーに表示されます。

「QuickFind」はデフォルトでは、ファイル名と説明フィールドを「を含む」で検索を行い、キーワードフィールドのような複数の値を持つフィールドは「で始まる」で検索を行います。




検索されたアイテムをさらに絞り込むには、「検索結果」ギャラリーで、また QuickFind を行うことができます。

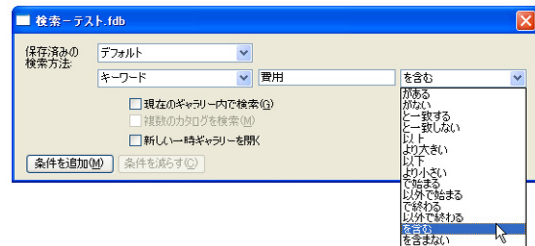
QuickFind で検索されたフィールドを変えるには、『Portfolio ユーザーガイド』の「Portfolio によるファイルの検索」の章を参照してください。

検索（複雑な検索）を用いての検索

検索（複雑な検索）では、指定した検索条件を用いて、あらゆる組み合わせで全フィールドの検索が可能になります。

検索（複雑な検索）を用いて検索するには

1. ツールバーで、「検索」ボタン  をクリックするか、または「カタログ」から「検索」(Win) あるいは「編集」から「検索」より「検索」(Mac) と選択します。
2. 「フィールド」メニュー、一致オプション、検索したい値から、検索フィールドを選び、検索で使う条件を選択します。



3. 「条件の追加」ボタンをクリックし、ウィンドウを広げ、追加条件を含めます。ウィンドウを広げて、異なる検索条件を 5 つまで含めることができます。

「保存済みの検索方法」などの詳細な検索機能に関する情報は、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。


ステップ 7: ファイルの配布

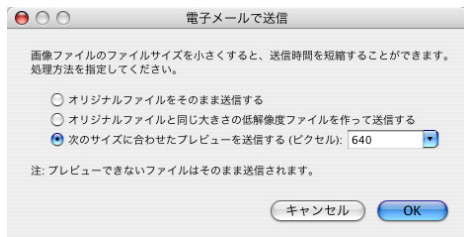
デジタルファイルの管理では、他のユーザーに、手早く簡単にファイルを配布できることが重要です。Portfolio には、いくつかの機能があり、ディスクやインターネットで、自分のファイルを集めたり、他人に送ったりする仕事を、大きく効率化するように設定されています。

Portfolio から電子メールでファイルを送る

ファイル、またはそのファイルの小さくサイズ変更されたプレビューを添付ファイルとして、Portfolio からご使用の電子メールソフトウェアへ直接送ることができます。

ファイルを電子メールで送るには

1. 現在のギャラリーで送信したいアイテムを選択します。
2. 「アイテム」から「電子メールで送信」を選択するか、ツールバーの「電子メールで送信」ボタンをクリックします。Portfolio では、ファイルの転送の仕方（オリジナルファイルを送る、低解像度のプレビューを送る、特定のピクセル幅のプレビューを送る）を選択するように指示されます。



3. 選択して、「OK」をクリックします。Portfolio は、ご使用のシステムのデフォルトの電子メールソフトウェアを起動し、新規の電子メールメッセージを作成し、プレビューオプションが選択されている場合にはプレビューを作成します。選択されたファイルは、添付ファイルとして追加されます。

4. 新規の電子メールは、ご使用の電子メールソフトウェアで自動的に作成されます。通常のように、その電子メールの送信先、件名、本文を記入します。

オリジナルファイル、またはプレビューファイルのディスクへの書き込み

Portfolio を用いて直接 CD や DVD へ書き込み、手軽に他の人と共有できます。これらのディスクには、オリジナルファイル、または自動的にサイズ変更された小さいサイズのプレビューファイルを含めることができます。




また、ディスク書き込み機能は、アーカイブディスクの作成に使うこともできます。その場合、Portfolio のカタログは更新されてアーカイブディスクを参照します。アーカイブディスクの作成に関する具体的な説明については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。

ディスクにファイルを書き込むには

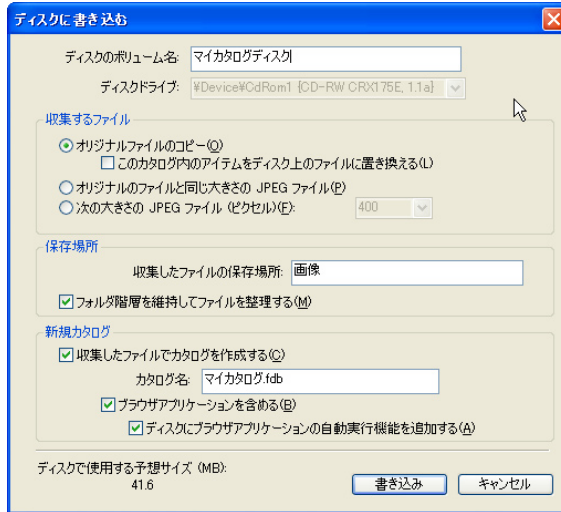
1. 必要ならば、CD や DVD に書き込む外部の装置が、ご使用のコンピューターに接続されていることを確認してください。
2. 何も記録されていないディスクをドライブに入れてください。
3. ギャラリーで、ディスクに書き込むアイテムのギャラリーを開きます。ギャラリーのアイテムはすべて、ディスクの作成に使用されます。



Portfolio は、1つのカタログのみにあるファイルを書き込む場合に対応します。このオプションは、複数のカタログからのアイテムを含むギャラリーには使えません。

4. 「ギャラリー」から「CD-R に書き込む」を選択します。
—または—
ツールバーの「CD-R に書き込む」ボタンをクリックします。

5. 「CD-R に書き込む」ダイアログボックスで、ディスクのボリューム名を入力してください。そのディスクをドライブに入れたとき、Windows のエクスプローラおよび Macintosh の Finder にこの名前が表示されます。



6. 以下の3つのファイルオプションから1つを選択します。
- **オリジナルファイルのコピー**—オリジナルのサイズのファイルを含めます。
 - **オリジナルのファイルと同じ大きさの JPEG ファイル**—低解像度の JPEG を付加します。
 - **次のピクセル数に合うプレビューの作成**—特定のピクセル幅内に合わせた低解像度の JPEG を付加します。



「このカタログ内のアイテムを CD-R 上のファイルに置き換える」を選択しないでください。このオプションは、アーカイブディスクを作成する場合にのみ使用します。



低解像度 JPEG を選択して、Portfolio が特定のファイルのプレビューを作成できない場合、そのファイルのオリジナルを代わりに含めるか、そのファイルをスキップするかを選択できます。

7. そのファイルを含むフォルダ名を入力してください。
8. 必要ならば、ファイルを整理して、一致するフォルダの階層構造にするというオプションをチェックしてください。このオプションでは、ご使用のディスクに、オリジナルファイルのサブフォルダと一致する、サブフォルダの階層構造が作成されます。



ディスクへ書き込むファイルに同じファイル名のある場合は、ファイル名の重複を避けるためにこのオプションを有効にすることを推奨します。

ディスクに書き込まれるファイルの Portfolio カタログを作成することができます。新しいカタログのアイテムはファイルの新しいコピーにリンクされます。新しく作成されたカタログはオリジナルカタログのクローンで、すべてのカスタムフィールド、データ、および保存済みビューを保持しています。簡易な読み取り専用バージョンである Portfolio ブラウザを自動的に付加することも可能です。新しいカタログにはサムネイル画像や保存済みビューなど、ユーザーが書き込まれたファイルを見るために基本的に必要なものすべてが含まれます。

9. 必要であれば、カタログを含めるオプションをチェックして、そのカタログ名を入力します。
10. ご使用のディスクに Portfolio ブラウザを含ませるには、適切なオプションをチェックしてください。Mac では、Windows ブラウザと Macintosh ブラウザの両方を含めることができます。
11. ダイアログボックスの一番下にある「推定サイズ」フィールドに表示される収集されたファイルの合計サイズ（メガバイト）をチェックして、書き込むボリュームに十分な空きスペースが有ることを確認してください。
12. 「書き込み」をクリックしてディスクを作成します。



ディスクに十分な空き容量がない場合には、書き込みの処理は完了できません。必要な容量を小さくするには、次のようにします。ギャラリーからファイルを削除するか、オリジナルファイルではなく、サイズ変更されたJPEGのみを含ませます。または、Portfolioブラウザおよび関連カタログが含まれないようにします。

Web ページの作成

Web ページ作成機能では、数回のクリックでカタログを洗練された Web ページに変えることができるように設計されています。使いやすい Web ページ作成アシスタントにより、各ステップを踏み、プロのような出来栄の Web ページを作成できます。

サイトを作成するには、選択するサイトテンプレートにより、最大 6 つの簡単な操作があります。サイトの各ページを設定するために、以下の操作をアシスタントが順を追ってガイドします。

Web ページを作成するための操作

カタログ選択 Web ページを作成するために、選択された画像の数およびカタログ名をリストします。

開始 Web サイトのレイアウトを選択します。

サイト サイトのすべてのページに対する全体的設定を設定します。また、ご使用のサイトに「ようこそページ」を追加します。

ギャラリー 画像の Web ページでの表示の仕方を設定します。

詳細 一般に、単一の高解像度の画像およびその他の詳細な情報が表示される詳細ページを設定します。

エクスポート エクスポート位置を設定し、後のためにテンプレート修正を保存します。

Portfolio ギャラリーで選択した画像の Web ページを作成するには

1. Web ページ上に含ませたい画像のサムネールを選択します。

「Web ページ作成」コマンドは選択されたアイテムのみ作用します。ギャラリーに表示される全画像を含ませるときは、「編集」から「すべて選択」を選択します。

2. 「アイテム」から「Web ページ作成」を選択します。

Web ページ作成アシスタントが表示されます。アシスタントにより、工程の各ステップがガイドされます。各ステップに関する詳細情報については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。

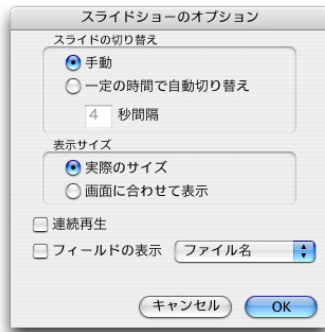


HTML コードでは、ユーザーが用いているブラウザのバージョンにより結果が異なります。ページの訪問者が、ページにアクセスする際に用いると考えられるブラウザで作成結果を表示してみることを推奨します。

スライドショーの作成

Portfolio スライドショー機能により、カタログ画像から自動的に実行されるスライドショーを作成できます。また、スライドショーを単独の QuickTime ムービーとして保存して、他のユーザーに配布できます。

「表示」から「スライドショーのオプション」を選択して、スライドショーの準備をします。オプションを設定し、手動のスライドショー（マウスをクリックするか、キーを押してスライドを進める）か、または自動的にスライドを進めるスライドショーを作成します。



他のスライドショーオプションの詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。

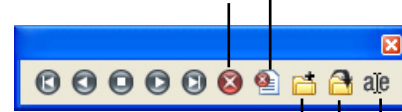
スライドショーの実行

現在のギャラリーのスライドショーを実行するには、「表示」から「スライドショー」を選択するか、Command キーと shift キーを押しながら S キーを押すか (Mac)、または Ctrl キーを押しながら ; を押す (Windows)。

スライドショーを手動で実行するには、コントローラの矢印をクリックし、前後のアイテムに移動します。または、キーボードの左右の矢印キーを押して、スライドショーの前後のアイテムに移動できます。Home キーまたは End キーを使えば、スライドショーの最初または最後に移動できます。

時間で自動的に切り替わるスライドショーは、自動的に始まりますが、ミニコントローラの一時停止ボタンを使えば、プレゼンテーションの停止や開始、再開を行うことができます。

カタログから削除 オリジナルファイルを削除



オリジナルをコピー

オリジナルを移動

オリジナルの名前を変更

スライドショーが「連続再生」でなければ、最後のアイテムが表示されると終了します。

スライドショーを止めてギャラリーに戻るには、コントローラの停止ボタンを押すか、キーボードの Esc キーを押します。

QuickTime ムービーの作成

「QuickTime ムービーを作成」オプションは、カタログからスライドショーをエクスポートし、QuickTime ムービーフォーマットで保存します。スライドショーをエクスポートする場合は、ムービーのトランジションを指定できます。

QuickTime ムービーを作成するには

1. ギャラリーを開いて、QuickTime スライドショーとして、エクスポートするアイテムを選択します。
2. 「アイテム」から「QuickTime ムービーを作成」を選択します。
3. サイズおよびトランジションのタイプを含むムービーオプションを設定します。詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』をご覧ください。



Portfolio Express パレット


Portfolio Express パレットはフローティングパレットで、いつでもすべてのアプリケーションからキーボードショートカットにより、Portfolio カタログの内容を簡単に利用できるようにします。カタログ化したすべてのファイルを検索したり、コピーしたり、開いて使用することができます。Portfolio を起動して開く必要もありません。パレットは、カタログ中の各アイテムのサムネールをファイル名とともに表示します。

Portfolio Express パレットは、Portfolio と独立した別のアプリケーションです。デフォルトで、メイン Portfolio アプリケーションと同じフォルダにインストールされます。



初めて Portfolio Express を起動するには

Macintosh: Portfolio Express を起動するには、Portfolio Express アイコンをダブルクリックします。Macintosh の場合、デフォルトのインストールでは Portfolio Express は自動的に起動しません。

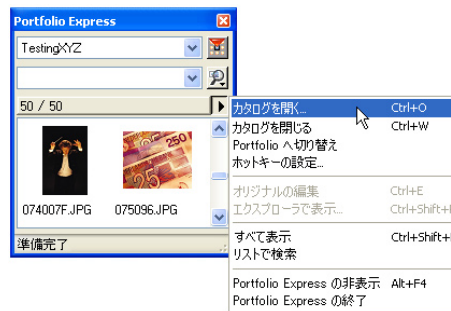
Windows: Portfolio Express パレットは、起動アプリケーションとしてインストールされバックグラウンドで実行されます。デフォルトのホットキー (Control+Shift+P) を押して、パレットを表示させるか、またはシステムトレイの Portfolio Express アイコンをダブルクリックします。

Portfolio Express アプリケーションがバックグラウンドで実行されていない場合は、「スタート」から「すべてのプログラム」、「[Extensis]」、「Portfolio」、「Portfolio Express」と順に選択します。

Portfolio Express からカタログを開くには

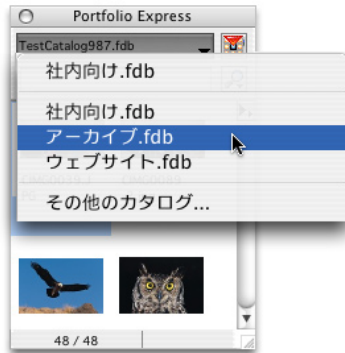
カタログを開くには

- パレットの右側の矢印から、「カタログを開く」を選択します。



最近使用したファイルを開くには

- パレットのカatalogメニューから、最近使ったCatalogを選択します。Portfolio Express パレットは、最近開いたCatalogをいくつか記録しています。



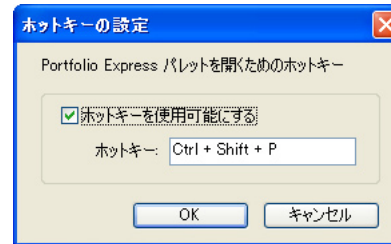
開きたいCatalogが、最近使用したCatalogのメニューにならないときには、メニューから「その他のカタログ」を選択し、Portfolio の他のCatalogを選んで、開きます。

Portfolio Express ホットキーの設定と使用

Portfolio Express パレットがバックグラウンドで実行されていれば、Portfolio Express ホットキーを押すだけで、Catalog化された画像にアクセスできます。デフォルトのホットキーはMacintoshでControl+Command+P、WindowsでControl+Shift+Pです。

ホットキーを設定するには

- パレットの右側の矢印から、「ホットキーの設定」コマンドを選択します。
- Windowsでは、「ホットキーを使用可能にする」チェックボックスがオンになっていることを確認してください。それから、「ホットキー」フィールドでクリックし、使用するキーの組み合わせを押します。



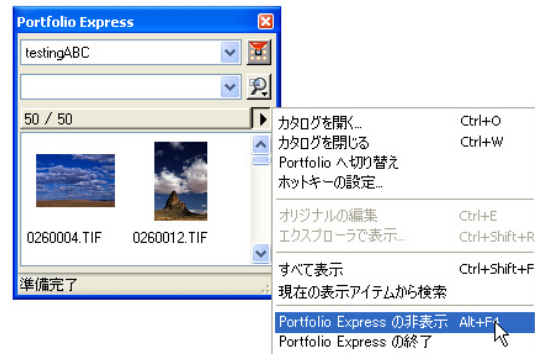
Macintosh では、ダイアログボックスが開いたときに、使用するキーの組み合わせを押します。

- 「OK」をクリックして、新しいホットキーをアクティブにします。

Portfolio Express パレットを隠すには

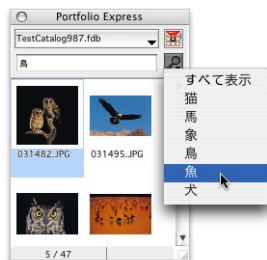
以下の方法のいずれかを用いて、(Portfolio Express アプリケーションを終了せずに) パレットを隠します。

- パレットタイトルバーのクローズボックスをクリックします。
- ホットキーを押します。
- パレットの矢印から、「Portfolio Express の非表示」を選択します。



ファイルの検索

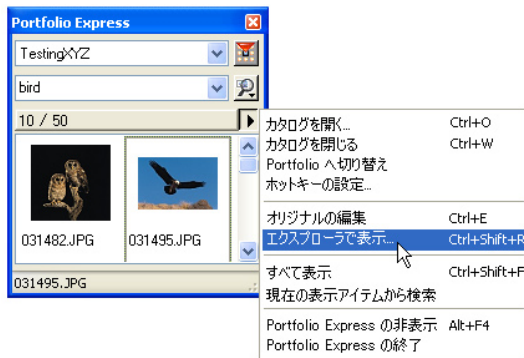
パレットから「QuickFind」を行うには、「QuickFind」ボックスをクリックして単語またはフレーズを入力し、Return キーを押します。マッチするアイテムがパレットに表示されます。また、ドロップダウンメニューから、最新の QuickFind を選択できます。



パレットから、ファイルへのアクセス

以下の方法で、Portfolio Express パレットを用いて、カタログ化されたアイテムに直接アクセスできます。

- サムネールをダブルクリックして、オリジナルファイルを編集するには、サムネールを選んで、フライアウトメニューから、「オリジナルの編集」コマンドを選択します。
- Adobe Photoshop、Illustrator、FreeHand などの編集ソフトウェアのエイリアス（またはショートカット）にサムネールをドラッグし、そのソフトウェアで画像を開きます。
- サムネールを選び、フライアウトメニューから、「エクスプローラで表示」（Win）または「Finder に表示」（Mac）を選択します。



- サムネールを、ドラッグ&ドロップをサポートしているアプリケーションの書類（Microsoft Word や Adobe InDesign など）にドラッグし、そのドキュメントに画像をコピーします。
- サムネールで、右クリック（Win）または Ctrl キーを押しながらクリック（Mac）して、メニューから「オリジナルの表示」を選択します。
- パレットの右上端の「Portfolio」ボタンをクリックするか、フライアウトメニューから「Portfolio へ切り替え」コマンドを選択し、Portfolio で現在開いているカタログを開きます。
- パレットからサムネールを電子メールメッセージにドラッグして、添付ファイルとしてオリジナルファイルのコピーを送信します。
- Macintosh で、サムネールを QuarkXPress ドキュメントにドラッグします。サムネールを画像ボックスにドロップする場合、画像はその画像ボックスに置かれます。それ以外の場合、Portfolio Express は、その画像用に新規の画像ボックスを作成します。



Macintosh の場合、サムネールを Portfolio Express パレット（または Portfolio 自体）から QuarkXPress にドラッグするには、QX-Drag & Drop が必要です。この XTension を Portfolio の CD から Quark の Xtension フォルダにコピーしてください。

Portfolio Express パレットの使用に関する詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。

セキュリティとアクセス権

Portfolio のカタログは、セキュリティに関して、パスワードによる保護を行っています。また、カタログの管理者として、ユーザーごとに割り当てるアクセスのレベルを変えることができます。

アクセス権には、以下の4つのレベルがあります。

管理者: このモードでは、すべての機能に対する完全なアクセス権を持ちます。管理者は、他のユーザーにパスワードを割り当て、カスタムフィールドを作成し、カタログ化と起動オプションをコントロールできますが、これらは、他のユーザーには許されていません。カタログが管理者モードで開かれている場合は、他のユーザーは使用することはできません。

発行者: 発行者は、カタログのアイテムの追加、削除、エクスポート、編集ができますが、新規のカスタムフィールド作成やパスワード変更といった管理機能にはアクセスできません。

編集者: 編集者モードでは、カタログ化されたアイテムに関する情報の検索、プレビュー、アクセス、および編集ができますが、カタログへの新規アイテムの追加、ファイルの名前変更、または Web ページや QuickTime ムービーへのカタログのエクスポートを行うことはできません。

閲覧者: 閲覧者は、アイテムの表示、検索、プレビュー、およびコピーができますが、カタログに変更を加えることはできません。これは、閲覧専用モードです。

Portfolio では、レベルごとにパスワードを設定できます（レベル単位でのアクセス）。また、各ユーザーに、アクセス権およびパスワードを割り当て（ユーザー単位でのアクセス）、カタログにアクセスしている人およびそのアクセス権をさらに詳しくコントロールすることもできます。



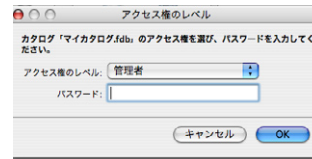
管理者が共有されたカタログを使用しているときには、他のユーザーはそのカタログにアクセスできません。管理者モードでカタログが開かれる場合は、各時点においてカタログにアクセスできるのは一人だけです。管理者モードでログインできない場合は、Portfolio（または Portfolio Express パレット）の別のコピーがすでに同じカタログを開いていると考えられます。

管理者モードでカタログを開くには

カスタムフィールドやマスターキーワードリストを作成する場合、管理者モードでカタログを開く必要があります。

アクセス権を管理者に変更するには

1. 「カタログ」から「アクセス権のレベル」を選択するか、Command キーを押しながら J キーを押すか（Mac）、または Ctrl キーを押しながら J キーを押します（Windows）。
2. 「アクセス権のレベル」ドロップダウンメニューから、「管理者」を選択します。



3. パスワードが設定されている場合は正しいパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

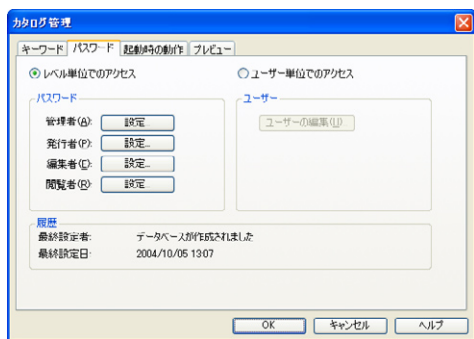
パスワード設定

アクセス権に応じて、または個々のユーザーに対して、パスワードを設定できます。

パスワードを設定するには

1. 管理者モードで開かれているカタログで（上記参照）、「カタログ」から「設定」（または「カタログ管理」）を選択します。「パスワード」タブを選択します。

2. 「レベル単位でのアクセス」と「ユーザー単位でのアクセス」のどちらかを選択します。



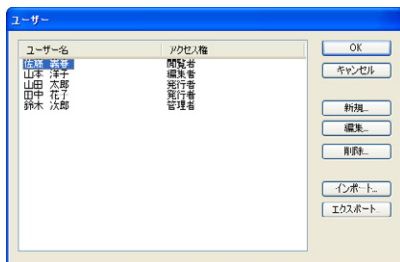
「レベル単位でのアクセス」では、4つのパスワードのみを割り当てることができます。管理者、発行者、編集者、および閲覧者の各アクセス権について1つずつです。あるレベルのカタログにログインしているユーザーすべてに同じパスワードが適用されます。「ユーザー単位でのアクセス」を選択した場合、各ユーザーにパスワードとアクセス権が割り当てられます。

レベル単位でのアクセスの場合

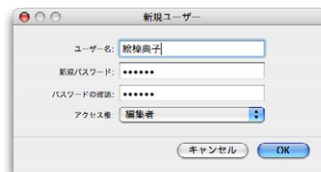
- 4つのレベルのそれぞれに対して、「設定」ボタンをクリックし、パスワードを設定します。

ユーザー単位でのアクセスの場合

1. 「ユーザー単位でアクセス」ラジオボタンをオンにします。
2. 「ユーザーの編集」ボタンをクリックします。



3. 「ユーザー」ダイアログボックスで、「新規」ボタンをクリックします。
4. 一人のユーザーに対して、ユーザー名、パスワード、およびアクセス権を割り当てます。



5. カタログにアクセスする各ユーザーについてこのステップを繰り返します。ユーザーの追加が終わったら、「OK」を押して「カタログ管理」ダイアログボックスに戻ります。



パスワードの変更を有効にするには、カタログを閉じて、再び開く必要があります。

デフォルトのカタログアクセス権の設定

Portfolio の設定を変更し、4つのアクセス権のモードの1つでカタログを開くことができます。

デフォルトのアクセス権モードを設定するには

1. 「編集」から「環境設定」(Win) または「Portfolio」から「環境設定」(Mac) を選択します。
2. 「一般」タブで、「デフォルトのカタログアクセス権」メニューから、アクセス権を選択します。選択されたレベルで、Portfolio は各カタログを開きます。

もちろん、どのレベルが設定されているに関わらず、カタログを開くためには、(パスワードがある場合) パスワードが必要です。「カタログ」から「アクセス権のレベル」を選択して、「カタログのアクセス権」ダイアログボックスの別のレベルに移行することにより、いつでもカタログにアクセスしているレベルを変更することができます。

索引

E

Extensis 社の連絡先 ii

P

Portfolio について 1

Portfolio のインストール 2

Portfolio の環境 6

Q

QuickFind 21

QuickTime ムービー 25

W

Web ページ

作成 24

Web ページの作成 24

あ

アイテムのソート 17

アイテムのプロパティ 13

アクセス権 29

アシスタント

Web ページの作成 24

新しい機能 5

い

一時ギャラリー 10

う

ウィザード

Web ページの作成 24

え

閲覧者モード 29

か

カスタマイズ 2

カスタムフィールド 17

画像を回転 14

カタログ

新規作成 8

ファイルを追加 8

カタログ作成オプション 9

カタログを開く

Portfolio Express を用いた 26

監視フォルダ

追加 18

管理者モード 29

き

キーワード 16

技術サポート 3

ギャラリー

一時ギャラリー 10

カスタマイズ 12

最新のカタログ 10

け

検索

Portfolio Express を用いた 28

QuickFind 21

検索コマンド 21

さ

最新のカタログ 10

し

システムの条件 2

条件

システムとソフトウェア 2

新機能 5

す

スライドショー 25

せ

セキュリティ 29

説明文 16

そ

ソフトウェアの条件 2

て

ディスクでの配布 22

ディスクへの書き込み 22

デフォルトのカタログアクセス権 30

電子メールでファイルを送る 22

と

同期

 フォルダ同期を用いた 19

登録とカスタマイズ 2

は

はじめに 7

パスワード 29

発行者モード 29

ひ

ビュー

 カスタマイズ 12

 保存 12

ビューのカスタマイズ 12

ふ

ファイルの検索 21

ファイルの整理 16

ファイルのプレビュー 13

ファイルの編集 14

ファイル名の変更 14

フォルダ同期 18

 同期 19

フォルダパレット

 ディスク上のファイルの移動 18

へ

編集者モード 29

ほ

保存済みビュー 12

ホットキー

 Portfolio Express 27

め

メタデータ 17

ゆ

ユーザー単位でのパスワード 30

れ

レベル単位でのパスワード 30

